生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	造血器腫瘍患者における薬物療法の予後及びバイオマーカーに関する後方視的研究		
1. 研究の目的と方法	血液がん（造血器腫瘍と呼び、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などがこれに該当します）は、従来の抗がん薬の薬物療法、造血幹細胞移植だけでなく、多くの新規薬物療法が開発され、高い有効性及び予後の改善が報告されています。一方で本邦における実際の診療下での長期成績や治療の有効性に関わる因子に関しては十分に解明されていません。薬物療法の治療成績（予後）および有効性に関わる因子（バイオマーカー）を知ることで患者さんの予後予測、治療戦略の構築に有益となる可能性が考えられます。今回薬物療法の予後及びバイオマーカーに関し、カルテデータを用いて検討を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 10 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	附属病院、西部医療センター、柏病院にて 2000 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までの間に造血器腫瘍と診断され、薬物療法を行った患者さん。調査対象期間は診断日から 2026 年 6 月 30 日までとします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療法、治療効果、転帰	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍・血液内科
		氏名	鈴木一史
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　腫瘍・血液内科　横山洋紀	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 12 月頃～
【問い合わせ先】	機　関　名：東京慈恵会医科大学　内科学講座　腫瘍・血液内科 研究責任者：准教授　鈴木　一史（すずき　かずひと） 窓口担当者： ＜附属病院＞ 准教授　鈴木　一史（すずき　かずひと） 03-3433-1111（内線 5983） ＜西部医療センター＞ 助教　福島　僚子（ふくしま　りょうこ） 03-3480-1151(内線 3467) ＜柏病院＞ 助教　長尾　陸（ながお　りく） 04-7164-1111（内線 2208） 対応時間： 平日 9：00～16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。